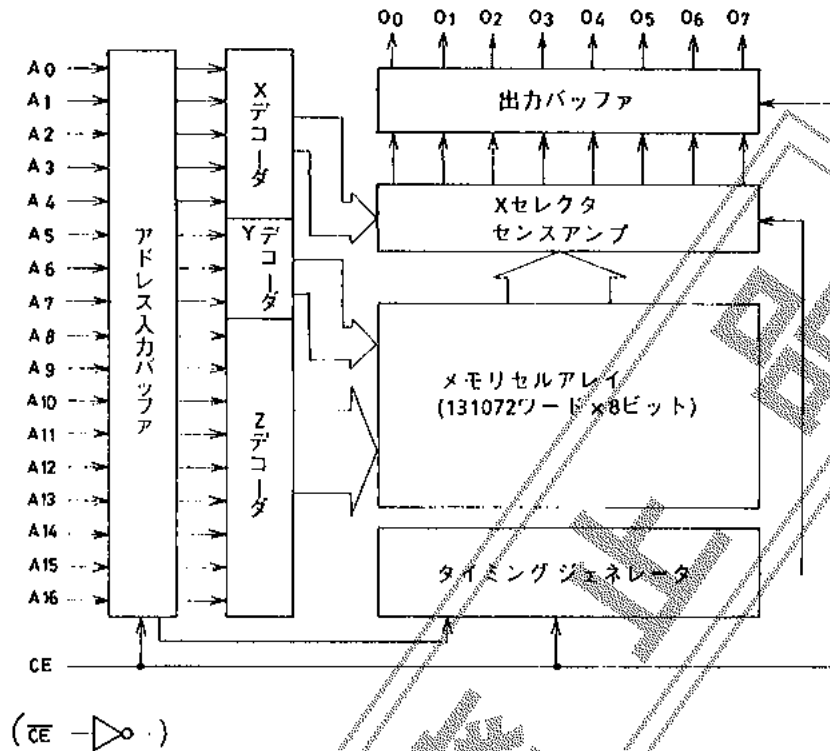
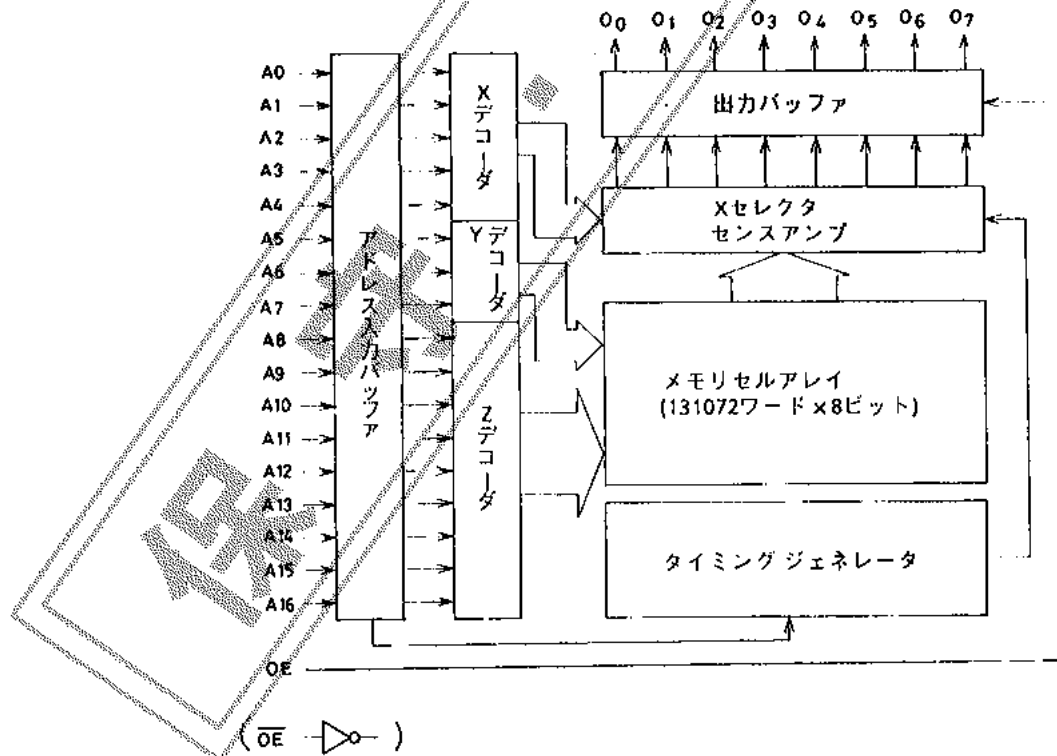


等価回路ブロック図

チップ制御端子がCE, $\overline{CE}$ の場合チップ制御端子がOE, $\overline{OE}$ の場合

絶対最大定格 / $T_a = 25^\circ\text{C}$

最大電源電圧	$V_{CC, \max}$	$-0.3 \sim +7.0$	V
入力電圧	V_I	$-0.3 \sim V_{CC} + 0.3$	V
出力電圧	V_O	$-0.3 \sim V_{CC} + 0.3$	V
動作周囲温度	T_{opg}	$0 \sim +70$	$^\circ\text{C}$
保存周囲温度	T_{stg}	$-55 \sim +150$	$^\circ\text{C}$

容量特性 / $T_a = 25^\circ\text{C}$

			min	typ	max	unit
入力容量	C_I	$f = 1\text{MHz}$			8	pF
出力容量	C_O	"			10	pF

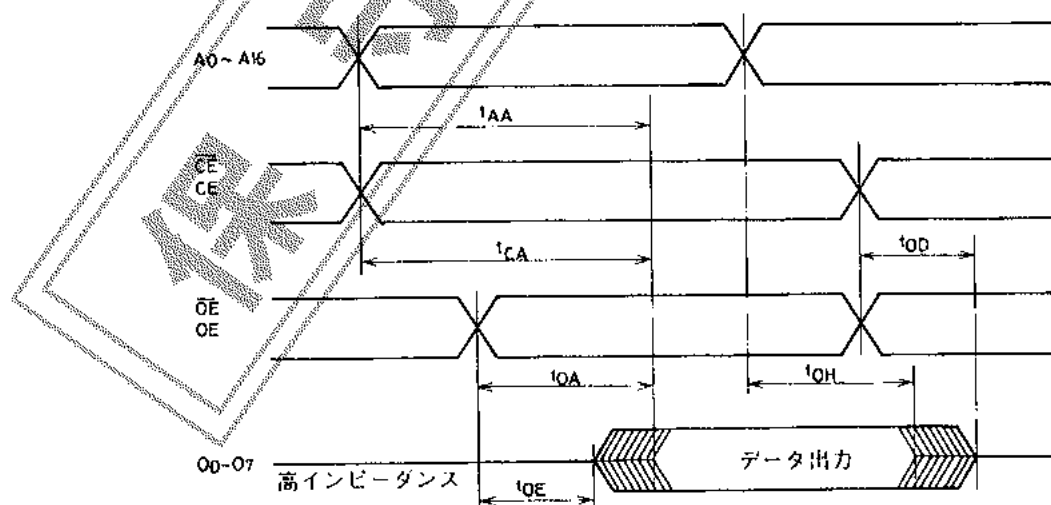
DC特性 / $T_a = 0 \sim +70^\circ\text{C}$, $V_{CC} = +5.0\text{V} \pm 10\%$

			min	typ	max	unit
入力「H」レベル電圧	V_{IH}		2.2	$V_{CC} + 0.3$		V
入力「L」レベル電圧	V_{IL}		-0.3		0.8	V
出力「H」レベル電圧	V_{OH}	$I_{OH} = -1.0\text{mA}$	2.4			V
出力「L」レベル電圧	V_{OL}	$I_{OL} = 2.0\text{mA}$			0.4	V
入力リーク電流	I_{LI}	$V_I = 0 \sim V_{CC}$	-1.0		1.0	μA
出力リーク電流	I_{LO}	$\overline{CE}$ or $\overline{OE} = V_{IH}$, $V_O = 0 \sim V_{CC}$	-1.0		1.0	μA
動作時電源電流	I_{CCA1}	$\overline{CE} = 0\text{V}$, $V_I = V_{CC}/\text{GND}$		0.01	0.1	mA
	I_{CCA2}	$\overline{CE} = V_{IL}$, $V_I = V_{IH}/V_{IL}$		4.0	10	mA
	I_{CCA3}	ミニサイクル: 入力条件は I_{CCA2} に準ずる。		15	30	mA
スタンバイ電流	I_{CCS1}	チップ非選択 ($\overline{CE} = V_{CC} - 0.2\text{V}$)			100	μA
	I_{CCS2}	チップ非選択 ($\overline{CE} = V_{IH}$)			1.0	mA

AC特性 / $T_a = 0 \sim +70^\circ\text{C}$, $V_{CC} = +5.0\text{V} \pm 10\%$

			min	typ	max	unit
アドレスアクセス時間	t_{AA}				200	ns
$\overline{CE}$ アクセス時間	t_{CA}	入力電圧 2.4V/0.6V, $t_r/t_f = 5\text{ns}$			200	ns
$\overline{OE}$ アクセス時間	t_{OA}	タイミング測定電圧レベル			100	ns
出力保持時間	t_{OH}	入力 1.5V, 出力 1.5V	0			ns
出力イネーブル時間	t_{OE}	負荷 1 TTL + 100pF	0			ns
出力ディスエーブル時間	t_{OD}				50	ns

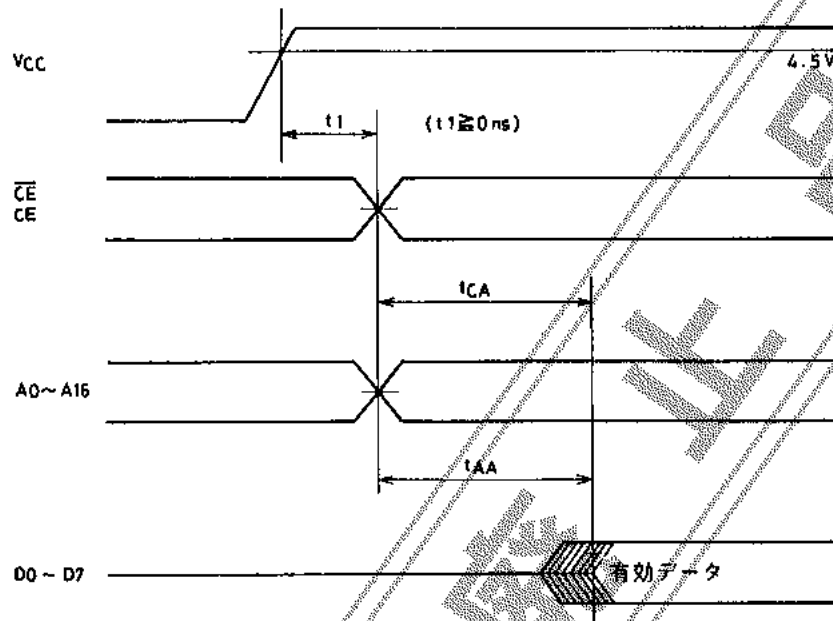
タイミング波形



電源投入時の注意

CE入力あるいは、アドレス入力A0~A16の変化を検知して動作を開始する内部同期方式をとっている。したがって電源投入後、下記トリガ信号が与えられるまでは、このLSIは動作を開始しないため、内部状態は不定であり、出力データは無効である。電源電圧安定後、CEタイプ品は $\overline{\text{CE}}/\overline{\text{CE}}$ をアクティブに、OEタイプ品は、A0~A16のうち少なくともどれか1つのアドレス端子を変化させること。

電源投入時



注意 (禁止入力電圧)

動作状態 ($\overline{\text{CE}} = \text{「H」}$, $\overline{\text{CE}} = \text{「L」}$, OE, $\overline{\text{OE}} = \text{don't care}$) における入力への不確定電圧 (0.8V~2.2V, 20ns 以上) の印加は避けること。本機には、オートパワーダウン回路を内蔵しているため、このような入力電圧の印加は、消費電力を増大させ誤動作を招く恐れがある。

この資料の情報(掲載回路および回路定数を含む)は一例を示すもので、量産セットとしての設計を保証するものではありません。また、この資料は正確かつ信頼すべきものであると確信しておりますが、その使用にあたって第三者の工業所有権その他の権利の実施に対する保証を行うものではありません。

本露記載製品が、外国為替および外国貿易管理法に定める戦略物資(役務を含む)に該当する場合、輸出する際に同法に基づく輸出許可が必要です。